



江渡あきのり後援会だより

エトマン通信

発行所

十和田事務所
〒034-0031 十和■市東三番町37-7
☎ 0176(24)3844
FAX 0176(24)3845
第2号

江渡あきのり『夢』を語る

将来を考え、今、この地には何が必要なのか？

皆さんの力と私の力をひとつにして、是非ともこの『夢』実現させたい！



今年三月から各地区において開催している「江渡あきのりと語る会」にて、本人が熱く語る『夢』とは何か？



点線部分の
早期実現に
むけて

道路整備区間

東北新幹線

1. 癌治療センターの誘致[重粒子放射線による治療機(シンクロトロン)を設備する]

*シンクロトロンとは何か

放射線による癌治療の機械であり、5分間の放射線照射を5回実施するだけで、手術の必要は一切なく初期・中期の癌患者は完治するシステムです。(千葉県放射線医療研究所の臨床実験で実証済み)

*むつ下北・上十三地区に誘致するにあたり有利な点

- ①治療センターをバックアップできる三次医療の可能な病院がある。
- ②六ヶ所核燃料サイクル基地がある。
- ③現在のところ、東北ブロックにおいて一ヶ所もない。

*むつ下北・上十三地区に病院が建設されたら、

- ①癌治療のために■本各地から人が集まる。(町おこし)
- ②もし方が一の際の癌治療施設が身近にある。(精神的安心)



2. 高速交通体系の整備

*現在のところ2区には高速交通体系がほとんど整備されていない。

*東北縦貫道の八戸線早期完成、上北町・天間林村にインターチェンジの設置

*下北縦貫道路の延長

- ①下北縦貫道路を天間林村で止めずに、十和田市・十和■湖町を経由し■本海縦貫道路に接続する。又、北は大間町まで延長する。
- ②■道338号線のむつ市からのバイパスを脇野沢村まで整備し、津軽半島までの橋を架ける。

*以上のような道路を整備することにより、観光道路及び農産物の輸送等の交通網の整備となり、各種産業は大きく発展する。

3. 貨物専用空港の建設

*貨物専用空港の建設により、むつ・下北・上十三地区は、現在より一層工業・農業・漁業等全ての産業が大きく発展する。



むつ下北・上十三の発展は、
医療・教育・福祉・農林漁業を中心として！



連合後援会 会長・幹事長会議



平成十四年六月二十日(木)、
十和田市連合後援会会長・幹
事長会議が開催されました。
丸井県議からの心強い激励
と、江渡あきのり本人からの
力強い挨拶に対し、会場から
は大きな拍手が沸き起こりま
した。本人、自民党県議団、後
援会が一体となり次期総選挙
に向かうことを確認した会議
でした。



力強い激励を下された丸井県議

自由民主党第二選挙区 支部長・幹事長会議



平成十四年七月二十三日(火)、自由民主
党第二選挙区支部長・幹事長会議が開催され
ました。

この会議では、三村氏入党拒否、次期総選
挙においても第二選挙区は『江渡あきのり』
一本でいくと
一致しました。



「すわんの会」納涼パーティー



平成十四年七月二十六日(金)、「すわんの会」の納涼パ
ーティーが行われました。納涼パーティーでは、江渡あ
きのりがエプロン姿も凛々しく(？)、女性の皆さんと楽
しく交流を深めていました。江渡あきのりのエプロン姿
が見られるのも、この納涼パーティーならではです。
是非「すわんの会」の会員になって「すわんの会」主催
の様々なイベントに参加してみたいかがでしょうか。江
渡あきのりの、普段は絶対に見ることのできない、いろ
んな面をみるができますよ。益々『エトマン』のファ
ンになること請け合いです。



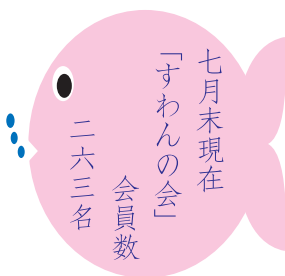
エプロン姿がやけに
似合う江渡あきのり



女性で満員御礼の会場



エプロン姿でごあいさつ



七月末現在
「すわんの会」

会員数
二六三名

「すわんの会」申し込み先
江渡あきのり後援会 十和田事務所 担当 竹内
〒034-0031 十和田市東三番町3 7-7
TEL 0176-24-3844
FAX 0176-24-3845



参加者の皆さんと交流を深める江渡あきのり

「ふれあいレディス上北」発会式

平成十四年六月十九日(水)、役員十三名・会員八十五名を集めた「ふれあいレディス上北」の発会式が行われました。

米内山真理子会長は「来るべき次の選挙には、是非当選させなければ」と挨拶を行い、会場は一層盛り上がりを見せました。



エトマン 親睦ボウリング大会

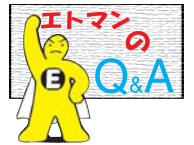


平成十四年五月二十一日(火)、十和田市イーグルボウルにおいて、十和田市・東北町・天間林村を中心とした若者四十名が集い、エトマン親睦ボウリング大会が開催されました。

江渡あきのり本人も、若者には負けられないとハイスコアをたたきだしていました。



まだまだ若い？
エトマン本人です。



どんな質問でも エトマンがお答えします！

Q 選挙における公費とは？

A 選挙の際立候補者に対し、選挙に関わる一部の費用を県・市町村が負担する制度です。例えば、十和田市長選挙を挙げますと、ポスター印刷代、選挙用自動車のリース代・ガソリン代・運転者人件費(各上限額あり)が公費として立候補者に代わって市が負担してくれます。合計では、上限額で四四七、〇四五円になります。又、選挙用ハガキ送料(市長選においては八、〇〇〇枚分)が無料となります。但し、一定の得票数が没収点に達しないと、公費の負担は受けることができません。この制度は、国会・県議会議員・市議会議員及び市町村選挙にも適用されますが(各選挙によって上減額は異なります。)町村議会議員の選挙においては適用されません。

選挙にあたっては、県・市町村とも多額の税金が使われます。今回の市長選の投票率は、六二、二八%でした。私たちに直接関係する代表者を選ぶ選挙ということを考えれば低すぎると思いませんか。私たちの大切な税金を使って選挙をするので、棄権をするということは、税金の無駄遣いにつながります。

選挙権、被選挙権は私たちに与えられた権利です。政治は選挙権のない人たち(二十歳未満)にも大きな影響を与えます。その人たちのことも考え、投票することが私たちの義務ではないでしょうか。

棄権のない投票率一〇〇%を目指したいものです。



福祉の現場から

Q 「K」プロジェクトなんですか？

A 「K」とは警察のこと、つまり、「警察プロジェクト」のことです。

全国の警察官に知的障害のことを理解してもらい、彼らが犯罪にあたり、加害者になってしまったり、街で様々なトラブルに巻き込まれた時に対応してもらおうという活動です。

警察官だけでなく、精神障害者と知的障害者の違いを分かる人は本当に少ないと思います。それどころか薬物中毒や酔っ払いみたいなものだろうと思っている人もいます。

ひとりでも多くの人が、知的障害者のことを理解し、そして、様々な障害に関して興味を持ち、本当の意味でのバリアフリーの世の中にするために、私たち自身が変わっていきましょう。

【ハンドブック紹介】

『知的障害のある人を被害から守るために』
『知的障害のある人を理解するために』



あいさつ回りの合間をぬって最愛の息子とおゆづき、つかのまのバ「保育園運動会」



自民党第二選挙区支部女性部主催

「女性フォーラム」大盛会



女性パワーでみなぎった会場



挨拶をする
江渡あきのり

平成十四年五月二十五日、サンロイヤルとわだにおいて自民党第二選挙区支部女性部主催「女性フォーラム」が、下北・上北地方から約一、〇〇〇人の女性参加者を集めて盛大に行われました。
滋賀県出身の有村治子参議院議員と大島理森代議士の勢津夫人の、歯切れの良いシヨークを交えた講演は満員の聴衆を魅了しました。
その後行われた「質問タイム」では、終始共感爆笑ムードのまま、予定の二時間はあっという間に過ぎました。



普通の女性が国会議員になった
エピソードを語る有村治子参議院議員

「今、自民党の中にも福祉政策に精通した若者のバリバリがない…。江渡さんを国会に送っていただきたい。」
(大島理森代議士 談)



「家内を迎えに来た」と大島理森代議士が突如の乱入(?)

「選挙を楽しんでやることを心掛けています。心から青森県人と友達になることです」と
恵美夫人に
アドバイスする
大島勢津夫人



大島勢津さん



パネリストとして華を添えて下さった

- *有村 治子参議院議員
- *大島 勢津夫人
- *盛田 恵津子七戸町議会議員
- *米谷 操自民党県連女性部長
- *笹原 はるよ自民党県連女性部幹事長

本当にありがとうございました。



大爆笑だった「質問タイム」
オブザーバーの江渡あきのりは冷や汗の連続

